整理番号	H-V011B-8

FRP　開閉台

取扱説明書

目　次　　（ページ）

1.弊社製品の保証内容について …… 1

2.取扱い使用上の注意 …… 2

3.運搬・開梱・保管の注意 …… 2

4.各部品の名称 …… 3

5.取付方法 …… 4

6.操作方法 …… 7

7.部品交換のための分解方法 …… 7

8.点検項目 …… 8

9.不具合の原因と処置方法 …… 8

10.残材・廃材の処理方法 …… 8

旭有機材

本取扱説明書は、弊社製品を安全にご使用頂くための重要な事柄について記載しています。
尚、お読みになられた後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管ください。

【表示マーク】

＜警告・注意表示＞

警告	取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負うことが想定される内容」です。
注意	取扱いを誤った場合、「傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される内容」です。

＜禁止・強制表示＞

	製品の取扱いにおいて、「行ってはいけない内容」で禁止します。
	製品の取扱いにおいて、「必ず行って頂く内容」で強制します。

1. 弊社製品の保証内容について

・弊社製品のご使用に際しては、製品仕様や注意事項等の遵守をお願い致します。
・弊社は製品の品質・信頼性の向上に努めておりますが、その完全性を保証するものではありません。特に人の生命、身体または財産を侵害する恐れのある設備等へご使用される場合には、通常発生し得る不具合を十分に考慮した適切な安全設計等の対策を施してください。このようなご使用については、事前に仕様書等の書面による弊社の同意を得ていない場合は、弊社はその責を負いかねますのでご了承願います。
・弊社製品の選定、施工・据付、操作、メンテナンス等の注意事項は技術資料、取扱説明書等に記載してありますので、最寄りの販売店・弊社営業所へお問い合わせください。
・弊社製品の保証期間は納入後1年間とし、保証期間中に不具合が生じ、弊社に通知された場合は直ちに原因究明を行い、弊社製品に欠陥が発見された場合には弊社の責任でその製品を修理・交換致します。
・保証期間経過後の修理・交換は有償となります。
・ただし、次に該当する場合は保証の対象外と致します。
　(1)ご使用条件が弊社の定義する保証範囲を超えている場合。
　(2)施工・据付、取扱い、メンテナンス等において、弊社の定義する注意事項等※が守られていない場合。
　(3)不具合の原因が弊社製品以外の場合。
　(4)弊社以外による製品の改造・二次加工による場合。
　(5)部品をその製品の本来の使い方以外にご使用された場合。
　(6)天災・災害等の弊社製品以外の原因による場合。
※ 尚、弊社製品の不具合により誘発される損害については、保証の対象外と致します。
・この保証は弊社製品を日本国内で使用される場合に限り適用されます。海外でご使用される場合には、別途、弊社にお問い合わせください。

2. 取扱い使用上の注意

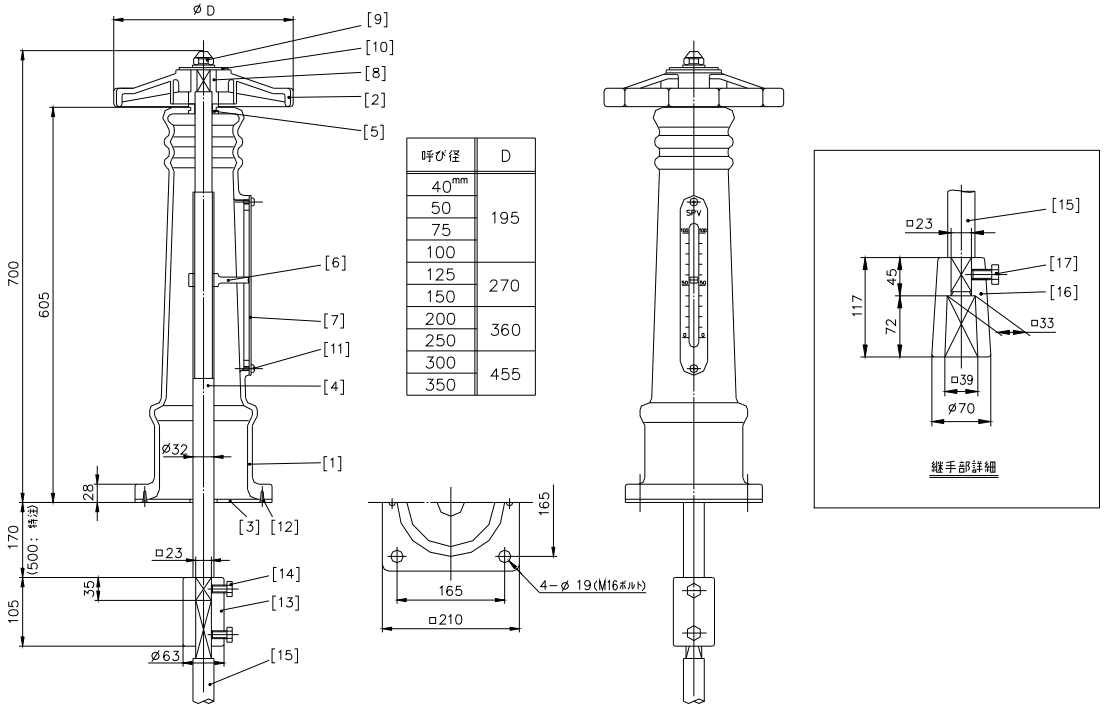
・当社樹脂製配管材料に陽圧の気体をご使用される場合は、水圧と同値であっても圧縮性流体特有の反発力により危険な状態が想定されますので、管を保護資材で被覆する等周辺への安全対策を必ず施してご使用願います。尚、ご不明な点はお手数ですが弊社窓口へお問い合せください。配管施工完了後、管路の漏れ試験を行う場合、水圧にて確認してください。止むを得ず気体にて試験を行う場合、最寄りの営業所へ事前にご相談ください。

・FRP 開閉台に乗ったり重量物を載せたりしないでください。(破損する恐れがあります)
・火気・高温な物体に接近させないでください。(変形・破損・火災の恐れがあります)
・保守点検が出来るスペースは十分確保してください。
・定期的なメンテナンスを行なってください。(長期保管、休転時または使用中の温度変化や経時変化により漏れが発生する場合があります)
・この製品はゲートバルブ専用ですので、ゲートバルブ以外でご使用になる場合は、事前に最寄の営業所に必ず問い合せ願います。

3. 運搬・開梱・保管の注意

・投げ出し・落下・打撃等による衝撃を与えないでください。(損傷や破損の恐れがあります)
・鋭利な物体(ナイフ・手掛など)で引っかき・突き刺しなどをしないでください。
・ダンボール梱包は、荷崩れしないように無理な積み重ねをしないでください。
・コールタール・クレオソート(木材用防腐剤)・白あり駆除剤・殺虫剤・塗料などに接触させないでください。
・配管直前までダンボールに入れたまま、直射日光を避け、屋内(室温)で保管してください。又、高温になる場所での保管も避けてください。(ダンボール梱包は水などに濡れると強度が低下します。保管・取扱には十分ご注意ください)
・開梱後、製品に異常がないか、また仕様と合致しているかご確認ください。
・バルブを運搬する場合、ハンドル掛けはしないでください。

4. 各部品の名称



部番	名　　称	部番	名　　称	部番	名　　称
[1]	スタンド	[7]	目盛板	[13]	中間ジョイント
[2]	ハンドル	[8]	ハンドルブシュ	[14]	六角ボルト
[3]	振れ止め	[9]	袋ナット	[15]	中間ロッド
[4]	ステム	[10]	ワッシャ	[16]	継　手
[5]	ブシュ	[11]	目盛板取付ビス	[17]	六角ボルト
[6]	指示針	[12]	振れ止め取付ビス		

5. 取付方法

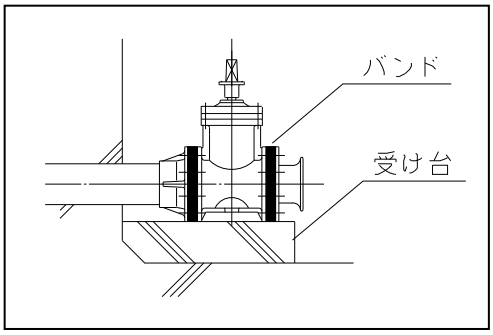
警告
・バルブの吊り下げ・玉掛けは、安全に十分注意して吊り荷の下に立たないでください。

・使用する機械工具及び電動工具は、始業前に必ず安全点検を行なってください。
・配管施工する際は、作業内容に応じた適切な保護具を着用してください。
（ケガをする恐れがあります）

注意
・U バンドなどで配管サポートを取られる際は、締め過ぎにご注意ください。（破損します）
・取付けの際は配管及びバルブ等に引張り、圧縮、曲げ、衝撃等の無理な応力が加わらないように設置してください。
・設置する際には、砂利や砂等のかみ込みがないように設置面をきれいに清掃し、水平な場所に設置してください。（FRP 開閉台が破損する場合があります）

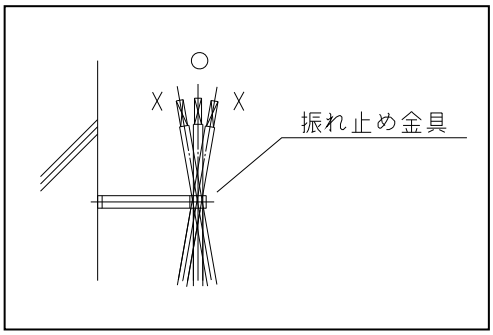
バルブ(キャップ付)の配管

・バルブの下部は必ず受け台を設けます。
・バルブはバンドにより固定します。
・バルブを全開にします。
・この時、バルブのステムと開閉台の開閉の回転方向とがそれぞれ一致しているか確認しておきます。

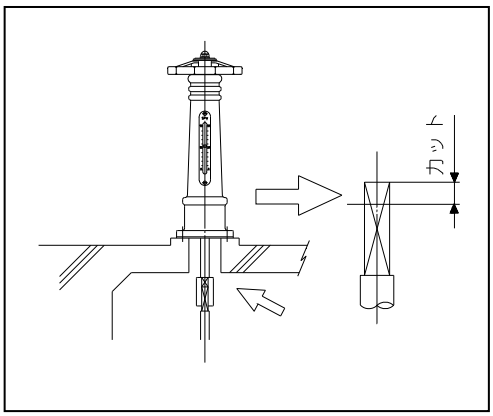


中間ロッドと振れ止め金具の取付

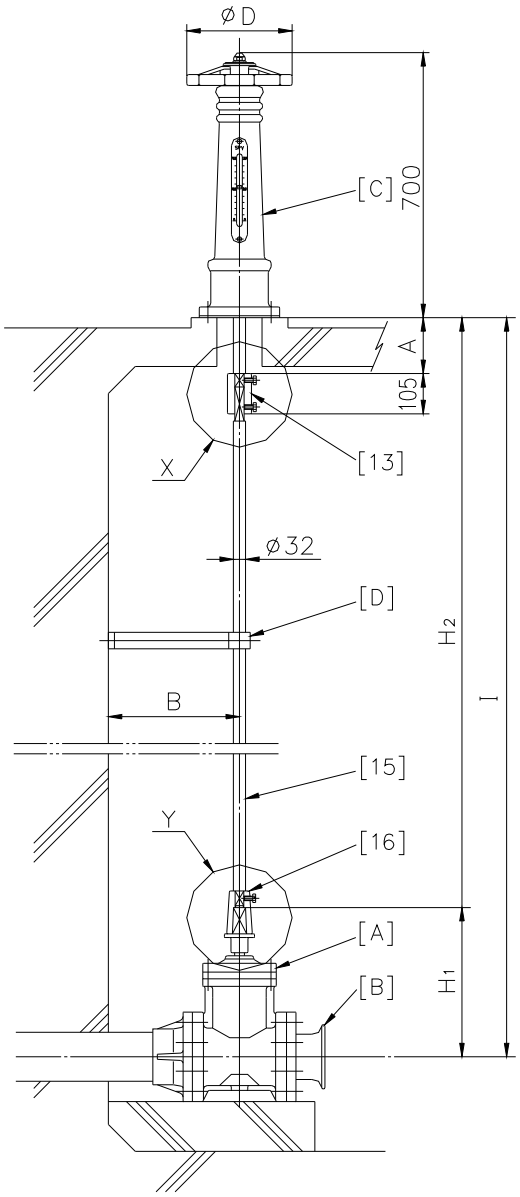
・バルブと中間ロッド[15]は継手[16]により接続します。
・振れ止め金具[3]は、中間ロッド[15]のできるだけ上部の適当な位置に取り付けます。
・この時、ロッドの軸心が鉛直になるように金具の取付状態を調整します。（6 頁設置例参照）

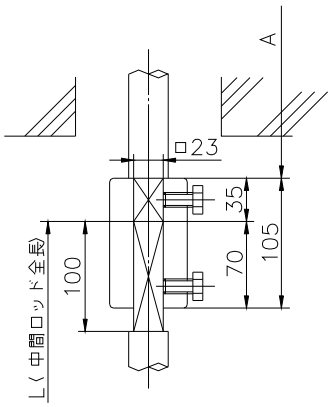


開閉台の取付

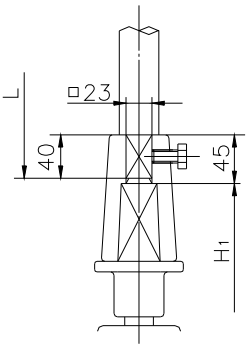


・開閉台のハンドル[2]を回して開閉台の指示針[6]を全開位置にしておきます。
・開閉台スタンド[1]の取付穴をアンカーボルト(M16)に正確に通し、ナットを取り付けスパナ(柄の長さが 20cm 程度)で均等に締め付け充分に固定します。
(あらかじめアンカーボルトは斜めにならないようにセットし、締め付け時にはスパナで過大に締めつけないでください。開閉台が破損します。)
※アンカーボルト取り付け位置につきましては、3 頁のボルト穴寸法図を参照ください。
・開閉台の固定位置を決めるために、開閉台のステム[4]と中間ロッド[15]を中間ジョイント[13]により仮接続します。
・仮接続の際、スタンド[1]よりハンドル[2]が浮き上がっているようであれば、中間ロッド[15]の角部長さが 100mm の部分の端を適当な長さにカットし、ハンドル[2]の浮き上がりがないように調整してください。
・開閉台のハンドル[2]を回してスムーズに回転できるか確認し中間ロッド[15]を本締めします。

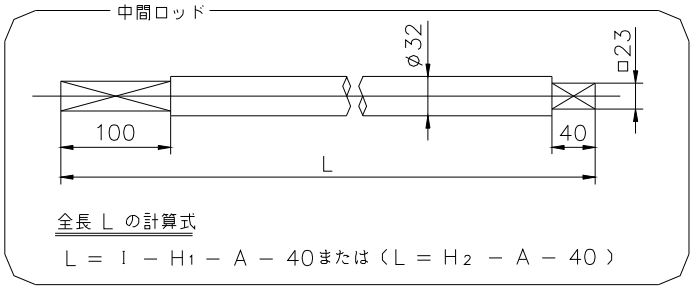


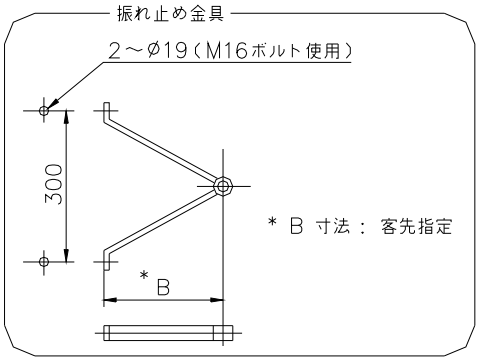


X 部詳細



Y 部詳細





呼び径	D	H1		*A
		10K 型式承認品	JWWA B 125品	
40mm	195	268	—	170（500）
50	195	299	300	
65	195	321	—	
75	195	357	360	
100	195	396	415	
125	270	427	455	
150	270	466	500	
200	360	582	—	
200(浅埋)	360	555	—	
250	360	675	—	
300	455	772	—	
350	455	875	—	

＊ A 寸法について標準品は170mm
500mmは特注となります。
200mmにはキャップ全高の異なる現行品と
浅層埋設対応品の２種類があります。

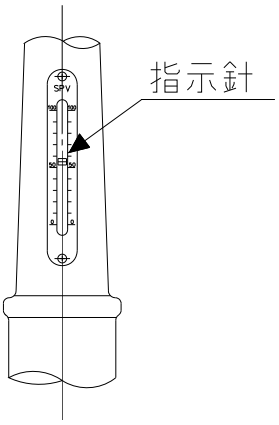
FRP開閉台

部番	名称
[A]	水道用仕切り弁
[B]	ラッパ口
[C]	FRP開閉台
[D]	振れ止め金具
[13]	中間ジョイント
[15]	中間ロッド
[16]	継手

・開閉台のハンドルを回し、規定の回転数で全開になり、また指示針が全閉位置を正しく指示しているか確認します。

呼び径 (mm)	回　転　数		呼び径 (mm)	回　転　数	
	10K 型式承認品			10K 型式承認品	
	S 型	P 型		S 型	P 型
40	14	16 1/4	150	18 3/4	19 3/4
50	13 1/4	15	200	25	25 3/4
75	15 1/2	17	250	—	25
100	17	18 1/4	300	—	30 1/4
125	22 1/2	23 1/2	350	—	35 1/2

注）S 型：ソフトシール型、P 型：標準型



6. 操作方法

注意
・バルブ取付後においても砂等の異物がパイプラインに残る恐れがありますので、配管内を洗浄した後、バルブの開閉をしてください。
・バルブを全閉・全開操作する際は、ハンドルを過度の力で必要以上に回さないでください。（破損する恐れがあります）
・ハンドル操作は必ず手で行ってください。（器具などを使用すると破損する恐れがあります）

○ 静かに回転させて開閉操作を行ないます。
（左開の場合、閉じるには時計方向、開くには反時計方向に回します。右開はその逆です。）

7. 部品交換のための分解方法

準備するもの
- スパナ
- 六角レンチ

＜分　解＞
手　順
・ナットを取り外し、開閉台を取り外します。
・中間ロッドと振れ止め金具を取り外します。

＜組　立＞
手　順
・分解と逆に手順で行います。（2 頁取付方法を参照してください）

8. 点検項目

注意 ・定期的なメンテナンスを行なってください。(長期保管・休転時または使用中の温度変化や経時変化により漏れが発生する場合があります)

○ 下記の項目にて点検を行なってください。

(1)	外観にキズ・ワレ・変形はないか。
(2)	開閉台の指示針とバルブの開度が一致しているか。
(3)	開閉台がきちんと固定されているか。
(4)	ハンドルの操作はスムーズに行なえるか。
(5)	開閉台とバルブのハンドル操作が連動しているか。

9. 不具合の原因と処置方法

状　態	原　因	処置方法
全閉にしても流体が止まらない	バルブ入力軸と開閉台の開閉の回転方向が一致していない	回転方向を一致させセットする
	バルブの開度と開閉台の指示針が一致していない	再調整してください (4 頁参照)
	異物のかみ込み	全開にして異物を流す (6 頁参照)
外部漏れがある	バルブに何らかの問題がある	解体して部品交換する (7 頁参照)
ハンドルの開閉が重い	異物のかみ込み	全開にして異物を流す (7 頁参照)
	開閉台とバルブのセンターが合っていない	設置をやり直しセンターを合わせる (4 頁参照)
ハンドルが空回りする	中間ジョイントが緩んでいる	再度固定する (4 頁参照)

10. 残材・廃材の処理方法

警告 ・廃棄される場合は必ず各自治体の指針に従い廃棄専門業者に処理をお願いしてください。(燃やすと有毒ガスが発生します)

FRP 開閉台

旭有機材工業株式会社

旭有機材ホームページ　http://www.asahi-yukizai.co.jp/

本書内容につきましては、製品改良の為、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。